

基本情報

名称	ドルトン東京学園中等部・高等部
開校年月	2019年4月[予定]
開校予定地	東京都調布市入間町二丁目28番20
学校の概要	共学の中高一貫教育／学年定員100名 ドルトンプランに基づく生徒中心教育
ホームページ	http://www.daltonschool-tokyo.jp/



ドルトンプランによる
中高一貫校が、
2019年4月開校に向けて
始動。

ドルトン東京学園中等部

2019年4月 開校予定

設置認可申請中

2019年4月開校に向けた計画の詳細や、学校説明会等の予定については、
ホームページにて順次情報を公開・更新いたします。
<http://www.daltonschool-tokyo.jp/>

お問い合わせ 学校法人東京学園高等学校 ドルトン東京学園設置準備室

TEL:0120-195-238

理事長より

学ぶことが楽しいと思える 学校をめざして

私達は、現在、グローバルな視野で新しい時代を切り拓く人材を育成する中高一貫校「ドルトン東京学園中等部・高等部」の開校を計画しています。

今後、AI革命やグローバル化の波は急速かつ劇的に社会の基盤を変貌させていくことが想定され、これからの時代を生きる若者は、かつての世代が経験したことの無い局面にチャレンジすることになります。したがって、当然、中等教育の使命も変化することが必要であると考えます。

こうした環境下を生き抜くことができる人材を育成する学校はどうあるべきかを考え、今般、中高一貫校を開校することにいたしました。新たな中高一貫校においては、どのような環境であっても、ありがたい自分・なりたい自分のために学び続け、グローバル化が進展する中で進んで多様性を理解し、協働する人材を育成したいと考えています。

私達は、開校128年の伝統を誇る東京学園高等学校の一大教育改革として、世界各国で実践され高い評価を得ている教育メソッドであるドルトンプランを取り入れ、新たに中学校を開校し、共学の中高一貫校「ドルトン東京学園中等部・高等部」として出発することにいたしました。「自由」と「協働」の原理のもと、学ぶことが楽しいと思える学校を創ります。

現在、教職員一人ひとりが、生徒と共に学び続けるパートナーでありたい、変化の激しい時代に呼応した革新的な存在でありたい、との思いで一丸となって開校準備を進めています。2019年4月の開校を予定し調布市入間町に新しい校舎を建設中で、2018年春には完成予定です。

ご関心をお持ちいただける方には、是非、私達にお声かけいただきたいと存じます。



学校法人東京学園高等学校
理事長 河合 弘登

ドルトンプランとは

ドルトンプランとは、今からおよそ100年前に米国の教育家ヘレン・パーカーが、当時多くの学校で行われていた詰め込み型の教育に対する問題意識から提唱した生徒中心の教育メソッドです。「自由」と「協働」の2つの原理に基づく「ハウス」「アサインメント」「ラボラトリー」を軸とし、生徒一人ひとりの知的な興味や旺盛な探究心を育て、個人の能力を最大限に引き出すことを大きな特徴としています。

パーカー自身が1919年に設立した“The Dalton School”は、ニューヨークのセントラルパークに近い住宅街に校舎を構え、幼稚園から高校までの一貫教育を行っています。ドルトンプランを実践する学校は世界各国にあり、「自由」と「協働」の精神が育まれる場として高い評価を得ています。

「ドルトン東京学園中等部・高等部」は私達を取り巻く文化や環境などの特性に沿い、日本の教育制度に適合した形で、ドルトンプランに基づいた中高一貫教育を実践してまいります。

ドルトン東京学園の教育

—ドルトン東京学園は、中高一貫校としてドルトンプランを実践します—

ドルトンプランの2つの原理

自由

生徒一人ひとりの興味を出発点に、自主性と創造性を育む

協働

さまざまな人々との交流を通じて、社会性と協調性を身につける

ドルトンプランの3つの柱

ASSIGNMENT

アサインメント

教科またはテーマに基づく探究を深めるための課題のことで、生徒は自ら計画を立てて学習します。学びの意欲を引き出すとともに自主性、計画性、責任感を養います。

HOUSE

ハウス

学年を越えた生徒で構成され学校生活の基盤となる集団です。生徒はハウス活動を通し、多様な価値観に触れ、社会性や協調性を身につけます。

LABORATORY

ラボラトリー

(ラボ)

教員と1対1または少人数グループで学びたいことを究めていく時間です。自分の目標に向かって学び続ける姿勢を身につけます。

本校が大切にしている学びのプロセス

学びの設計

一つひとつの学習について、生徒は目的と目標を常に意識し、学習手段の選択やスケジュール管理などの学びの設計を自分自身で行います。学びを設計する力は、人生の中で直面する様々な課題に対し、解決の道筋を探り、実行に移す力となります。

学びの深まり・広がり

個々の教科で得た「点」の知識を探究型学習によって深め、複数の教科が連携した学習によって「面」に広がっていきます。自らの関心を原動力として、深く広く学び続けることで、実社会で生きる力となります。

学びの発信

学んで身につけたことは、発信して他者と共有することで初めて意味を持ちます。本校では、学内外における発信の機会を十分に確保し、議論したり、共感を得たりする経験を大切にします。この経験が、多様性を尊重し自信と柔軟性を持ってAI時代やグローバル社会で活躍する力となります。

